

在学生

用いた調査結果
高知大学での学びと学生生活に関する
調査2025 (回答率44.2%)

大学入学以前の自分と比べて 大学入学後一番成長したと思うこと

- 16.3%** ものごとを筋道立てて考え論理的に結論を出せるようになった。
- 15.7%** 相手にわかりやすく伝えるように話したり、相手のことを考えて文章が書けるようになった。
- 15.4%** 相手の意図を汲み取るように聴いたり、自分の意図をわかりやすく伝えられるようになった。
- 20.3%** 複数の他者と力を合わせてものごとを進めていくことができるようになった。
- 11.2%** 時間を守ることなど自分の行動に責任がもてるようになった。
- 7.3%** 自己の良心や社会的なルールに従って行動できるようになった。
- 13.9%** 困難なことがあっても臨機応変に自分の力を発揮して事態を乗り切ることができるようになった。



大学の学びを通じて、様々な面で成長が得られています。自分自身の成長を感じた場面の記録を残しておくことで、卒業後の成長にもつながる気づきを得ることができるでしょう。

自分の目標の達成

48%

自分の目標は達成するまであきらめずやり遂げた

2025年度実施 GPS-Academic 3年生の回答データ (回答率60.4%)

大学生活では、当初立てた目標をやり遂げることもあれば、学びや経験を通して目標が見直されることもあります。毎学期、e-ポートフォリオに目標や振り返りを記録しておくことは、そのような試行錯誤を振り返る助けになります。また、そうした記録は就職活動の時に役に立つことでしょう。

卒業生

用いた調査結果
卒業生調査:2024年度実施
(2020年度卒業生・回答率30.2%)

成長実感

大学時代の活動を通して「成長した」と感じている人の割合

97%

●人文社会科学部 卒業生より

自分の行動に最後まで責任を持って行動できる、やり遂げられる人が社会に出た時に重要だと思います。学生として、自由な時間だからこそ、自分自身に責任を持って学び、行動して欲しいです。少し不便なこともあるかもしれませんが、高知にしかない魅力がたくさんあり、触れられる大学なので楽しんで学生生活を送って欲しいです。

特に成長を感じた経験

人との関わり
出会い **17.0%**



- ゼミ 研究活動 **16.4%**
- 部活動 サークル活動 **16.1%**
- 実習 **10.0%**
- 卒業研究 卒業論文 **10.0%**
- 授業 試験勉強 **9.7%**

●理工学部 卒業生より

学業はもちろん、クラブ活動やアルバイトも全力で取り組んでください。私は、それぞれで出逢った人と今でも繋がっています。一生の財産になっていると感じます。

高知大学で受けた教育を通して 印象に残っている経験

- 1位** 相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやり遂げる厳しさがあった
- 2位** 大学の個性や特色をいかした教育を受けられた
- 3位** 学問固有の物の見方や考え方に触れられた

高知大学で受けた教育を通して 印象に残っている機会

- 1位** 実習や体験活動など、学んだ知識を実際に活かすことができた
- 2位** 教員と学生とで双方向のやりとりがあった
- 3位** 教科書の枠にとらわれず教員の自由な知見・見解に触れることができた

高知大学 まなびのプロフィール



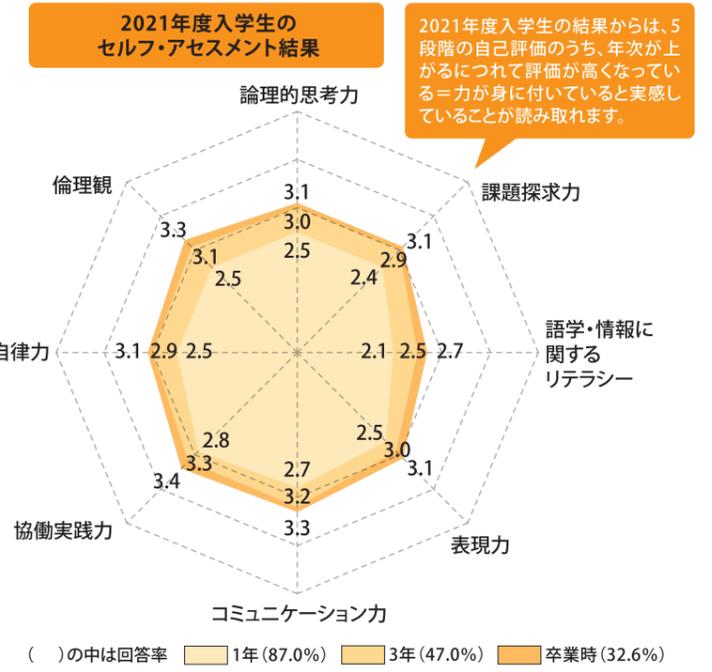
高知大生に身に付けてほしい「10+1の能力」とは？
身に付いた能力を確認するためにはどうすればいい？
「まなびのプロフィール」では、在学生や卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、高知大学での学びや学生生活を通じて得られた成長実感や満足度などについて紹介します。また、みなさんが「10+1の能力」を身に付けて、「なりたい自分」に近づくために、幅広く深い学びに向けたツールやサポート体制について説明します。



10+1の能力評価

10+1の能力がどれだけ身に付いているのかについて、GPAでの評価に加えて学生による自己評価と教員による他者評価を用いたアセスメントを行っています。具体的には、GPAで評価する能力を除いた8つの能力について評価するために、1年次と3年次および卒業時に段階評価のセルフ・アセスメントを実施しています。また、10+1の能力のうち、「統合・働きかけ」を測るために、各学部・学科・コースで評価対象科目を選定し、学生による自己評価と教員による他者評価を組み合わせたパフォーマンス評価を実施しています。

10+1の能力		評価方法
対課題	専門分野に関する知識	GPA (成績)
	人類の文化・社会・自然に関する知識	
	論理的思考力	
	課題探求力	
対人	表現力	セルフ・アセスメント (ルーブリックによる学生の自己評価)
	コミュニケーション力	
	協働実践力	
対自己	自律力	パフォーマンス評価
	倫理観	
統合・働きかけ		



身に付いた能力を確認することで客観的に自己評価できるようになろう！

こうした数字では表しにくい能力は、試験などと違って、身に付いたかどうか自分で判断することが難しいことも事実です。しかも、自分で自分を評価するモノさしは、成長の過程で変化します。いいかえると、さまざまな経験を積み重ねていきながら、その都度、周囲の人から感謝されたことや、思わぬ失敗をしたことなどを振り返り、自分に向き合うことで、より客観的に自分を評価できるようになります。



